



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日
東

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所
コード番号 3674 URL <https://aucfan.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武永 修一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 杉山 真二郎 (TEL) 03-6809-0951
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	4,148	17.0	51	73.0	88	74.5	2	—
2025年9月期第3四半期	3,544	△2.3	29	△89.7	50	△83.7	△31	—

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 △27百万円(—%) 2025年9月期第3四半期 △98百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	0.21	—
2025年9月期第3四半期	△3.07	—

(注) 2025年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。2026年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	7,330	4,083	55.7
2025年9月期	7,084	4,092	57.8

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 4,083百万円 2025年9月期 4,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	20.2	50	—	40	—	20	—	1.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年9月期3Q	10,813,700株	2025年9月期	10,813,700株
2026年9月期3Q	292,016株	2025年9月期	292,016株
2026年9月期3Q	10,521,684株	2025年9月期3Q	10,418,341株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	4
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益及び包括利益計算書	7
（第3四半期連結累計期間）	7
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（会計方針の変更）	8
（セグメント情報等）	9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	10
（重要な後発事象）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループは、膨大な売買データとAI技術を活用し、流通の可視化及び効率化を推進してまいりました。現在は、流通の担い手が商品の価値を見出し、その価値を広げていく流通基盤の構築を目指しております。

当社グループでは、各サービスを利用するクリエイター、SmallB（個人事業主）及び副業人材等の流通の担い手を「Appreciator（アプリシエイター）」と定義しております。“Appreciate”には「真価を認める」「価値を高める」といった意味があり、Appreciatorを商品の価値を見出し、広げていく主体として位置づけております。こうした考えのもと、「We Are Appreciators」をコーポレートメッセージとして掲げております。

これまで当社グループは、「BtoB取引市場のDX化」を中核に、国内流通のデジタル化を推進してまいりました。国内のBtoB取引市場は約300兆円規模（※1）と推定され、そのうちEC化されていない取引は約200兆円に上るなど、大きな未開拓領域が存在しております。当社グループは、データを活用した流通の効率化及び高度化を通じ、当該領域のデジタル化に取り組んでまいりました。

一方、近年は、これらの事業基盤を活用し、事業ポートフォリオの転換を進めております。自社ブランド及びライブコマースを新たな成長領域と位置づけ、中国を中心とするグローバルな生産・供給ネットワークを活用し、商品企画・製造から国内販売までを一貫して行う事業モデルへのシフトを推進しております。

海外事業においては、中国・義烏を起点とした越境流通や展示会施策等を通じて構築したネットワークを、自社ブランドにおける商品企画及び調達に活用しております。一方、独立した海外施策については、収益性及び再現性を見極めながら、経営資源の選択と集中を進めております。

成長領域では、自社ブランド及びライブコマースの売上規模が拡大しております。自社ブランドでは、「AP LAB（エーピーラボ）」及び「KACHIKA（カチカ）」の商品ラインアップ及び販売チャネルの拡充を進めております。中国の生産ネットワークを活用して商品を企画・製造し、国内において個人向け販売及び法人向け卸売を展開しております。

また、「NETSEA MallLive」を中心とするライブコマースでは、当社グループが商品を仕入れ、ライブ配信を通じて販売するとともに、ライバー及び販売事業者に対する商材提供機能の拡充を進めております。

当社グループは、これらの自社ブランド及びライブコマースを今後の成長ドライバーと位置づけ、既存事業が生み出す収益を基盤として、事業ポートフォリオの転換を進めております。当第3四半期連結累計期間においては、自社ブランド及び「NETSEA MallLive」を中心とするライブコマースの売上規模が拡大しました。一方、商品開発及び販売体制の構築等に伴う先行投資が継続しているものの、売上拡大により当該投資負担の吸収が進み、収益化に向けた事業基盤の整備が着実に進展しております。

※1 経済産業省2025年8月26日発表 電子商取引に関する市場調査、BtoB-EC市場規模の業種別内訳より推察

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,148,350千円（前年同四半期比17.0%増）、営業利益は51,233千円（前年同四半期比73.0%増）、経常利益は88,651千円（前年同四半期比74.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,238千円（前年同四半期は31,974千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

また、2026年9月期より、インキュベーション事業として区分しておりました傲可凡(海南)网络科技有限公司及び傲可凡(義烏)進出口有限公司は、海外事業等の新規事業開発としての一定の検証・立ち上げフェーズが進捗したことを踏まえ、区分をプラットフォーム事業に変更しております。

そのため、前年同四半期比については、前第3四半期連結累計期間の数値を報告セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（ソリューション事業）

当セグメントは、当社が保有するデータとAI技術を活用し、商品の価値を可視化・最適化することで、ECや副業に取り組むAppreciator（SmallB・個人事業主・インフルエンサーなど）を支援するソリューションサービスを提供しております。主なサービスとしては当社が保有する流通相場データを活用した『aucfan.com（オークファンドットコム）』であり、主たる収益源は有料課金収入及びネット広告収入となります。その他、EC事業者向けマーケティング支援サービス『aucfan marketing（オークファンマーケティング）』、ネットショップ一元管理サービス『タテンポガイド』、直感的に操作できるRPAツール『オークファンロボ』等を提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、aucfan marketing（オークファンマーケティング）における広告運用サービス売上が好調に推移しました。一方、aucfan.com（オークファンドットコム）では、2024年9月期に実施した会員機能強化に伴う価格改定の効果が前年同期に寄与していた反動により、当第3四半期連結累計期間における課金売上は減少しました。

これらの結果、売上高2,199,124千円（前年同四半期比1.0%増）、営業利益487,806千円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

（プラットフォーム事業）

当セグメントは、商品供給力を強みに、国内外において商品流通支援サービスを提供しており、オンライン及びオフラインで複数のマーケットプレイスを運営しております。主なサービスとしては、BtoB卸モール『NETSEA（ネッシー）』、オフラインの展示・商談会事業『OSR（オーエスアール）展示商談会』、中国の生産ネットワークを活用した自社ブランド「AP LAB（エーピーラボ）」「KACHIKA（カチカ）」、ライブコマースサービス『NETSEA MallLive』等がございします。主たる収益源は、NETSEAにおける流通手数料収入及び有料課金収入、自社ブランド及びNETSEA MallLiveにおける商品販売収入、OSRにおける決済手数料収入及び出店料となります。

当第3四半期連結累計期間においては、NETSEA及びOSRでは、コスト効率化に加え一時的な需要の増加もあり収益性が改善し、利益を押し上げる要因となりました。一方で、滞留在庫・返品・型落ち品等の流動化支援を行う「NETSEAオークション」を2025年3月にサービス終了したことから、前第3四半期連結累計期間に計上されていた同サービスに係る売上は、当第3四半期連結累計期間には発生しておりません。

また、自社ブランド「AP LAB」及び「KACHIKA」では、商品ラインアップ及び販売チャネルの拡充により売上が拡大しました。「NETSEA MallLive」を中心とするライブコマースにおいても、販売規模の拡大を進めております。これらの成長領域では、商品開発・販売体制の構築等に伴う先行投資負担が継続しておりますが、売上拡大に伴い当該負担の吸収が進んでおります。この結果、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント損失は前年同期に比べ拡大したものの、当第3四半期連結会計期間におけるセグメント損失は前四半期に比べ縮小しました。

これらの結果、売上高1,992,757千円（前年同四半期比62.9%増）、営業損失127,982千円（前年同四半期は112,991千円の営業損失）となりました。

（インキュベーション事業）

当セグメントは、事業投資及び投資先企業の支援を通じて、当社が中長期的に競合優位性を構築・維持するための知見とネットワークを得ることを目的としております。主たる収益源は、営業投資有価証券の売却益・配当収益、投資先企業へのコンサルティング収益であり、あわせて新規事業開発にも取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、新規投資を選別的に行いつつ、既存投資先の支援及び投資回収を進めました。営業投資有価証券の売却収入等を計上したものの、前年同期水準には至りませんでした。

これらの結果、売上高37,482千円（前年同四半期比84.7%減）、営業損失36,038千円（前年同四半期は41,345千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、7,330,838千円(前連結会計年度末は7,084,468千円)となりました。

流動資産は、6,494,948千円(前連結会計年度末は5,922,231千円)となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が172,093千円減少したものの、商品が460,882千円増加、その他(流動資産)が125,218千円増加、売掛金が114,264千円増加した結果であります。

固定資産は、835,890千円(前連結会計年度末は1,162,236千円)となりました。主な要因といたしましては、投資有価証券が297,511千円減少、ソフトウェアが56,359千円減少した結果であります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、3,247,509千円(前連結会計年度末は2,991,846千円)となりました。

流動負債は、3,200,598千円(前連結会計年度末は2,945,689千円)となりました。主な要因といたしましては、未払金が229,018千円増加、未払法人税等が67,277千円増加した結果であります。

固定負債は、46,911千円(前連結会計年度末は46,157千円)となりました。主な要因といたしましては、繰延税金負債が460千円減少したものの、その他(固定負債)が1,215千円増加した結果であります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、4,083,329千円(前連結会計年度末は4,092,621千円)となりました。主な要因といたしましては、為替換算調整勘定が16,172千円減少、その他有価証券評価差額金が13,902千円減少した結果であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の連結業績予想については、2025年11月14日に公表した通期予想(売上高5,600百万円、営業利益50百万円、経常利益40百万円、親会社株主に帰属する当期純利益20百万円)に変更はございません。当第3四半期連結累計期間の営業利益・経常利益は通期予想の水準に達しておりますが、第4四半期の事業進捗等を精査するとともに、将来の課税所得見通し等を踏まえた繰延税金資産の回収可能性並びに親会社株主に帰属する当期純利益への影響についても現在精査中であるため、現時点では業績予想を据え置いております。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成しております。実際の業績は、今後の事業進捗や市場環境等の様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,785,352	3,613,258
売掛金	372,537	486,802
営業投資有価証券	872,222	858,880
商品	127,267	588,150
仕掛品	869	1,169
貯蔵品	3,473	2,158
未収入金	596,831	661,492
その他	239,052	364,270
貸倒引当金	△75,375	△81,234
流動資産合計	5,922,231	6,494,948
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	62,471	57,725
工具、器具及び備品（純額）	39,929	51,577
その他（純額）	2,456	6,601
有形固定資産合計	104,857	115,903
無形固定資産		
のれん	994	—
ソフトウェア	346,842	290,483
ソフトウェア仮勘定	35,356	60,936
その他	1,587	1,770
無形固定資産合計	384,782	353,190
投資その他の資産		
投資有価証券	297,511	—
繰延税金資産	57,406	68,725
破産更生債権等	298,303	298,303
長期未収入金	276,286	244,196
その他	317,539	298,020
貸倒引当金	△574,450	△542,450
投資その他の資産合計	672,596	366,795
固定資産合計	1,162,236	835,890
資産合計	7,084,468	7,330,838

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	46,174	70,809
短期借入金	1,300,000	1,280,000
未払法人税等	13,751	81,029
未払金	1,400,486	1,629,504
契約負債	83,407	70,454
賞与引当金	3,400	1,500
株主優待引当金	20,000	—
その他	78,469	67,299
流動負債合計	2,945,689	3,200,598
固定負債		
繰延税金負債	460	—
その他	45,696	46,911
固定負債合計	46,157	46,911
負債合計	2,991,846	3,247,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	973,683	973,683
資本剰余金	839,851	935,844
利益剰余金	2,239,929	2,164,719
自己株式	△184,880	△184,880
株主資本合計	3,868,584	3,889,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	221,058	207,156
為替換算調整勘定	2,977	△13,194
その他の包括利益累計額合計	224,036	193,961
純資産合計	4,092,621	4,083,329
負債純資産合計	7,084,468	7,330,838

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,544,790	4,148,350
売上原価	1,815,862	2,001,538
売上総利益	1,728,927	2,146,811
販売費及び一般管理費	1,699,316	2,095,578
営業利益	29,610	51,233
営業外収益		
受取利息	2,485	8,231
為替差益	21,156	14,079
営業債務消滅益	6,156	—
投資有価証券売却益	—	23,610
その他	5,035	4,151
営業外収益合計	34,832	50,073
営業外費用		
支払利息	10,164	11,379
その他	3,473	1,276
営業外費用合計	13,638	12,655
経常利益	50,805	88,651
特別利益		
その他	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
事業撤退損	14,208	—
その他	146	—
特別損失合計	14,355	—
税金等調整前四半期純利益	36,449	88,651
法人税、住民税及び事業税	26,423	91,938
法人税等調整額	42,000	△5,526
法人税等合計	68,424	86,412
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△31,974	2,238
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△31,974	2,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68,665	△13,902
為替換算調整勘定	1,819	△16,172
その他の包括利益合計	△66,846	△30,075
四半期包括利益	△98,820	△27,836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△98,820	△27,836

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	ソリュー ション	プラット フォーム	インキュ ベーション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,097,547	1,201,555	245,687	3,544,790	—	3,544,790
セグメント間の内部売上高又は 振替高	79,425	22,109	—	101,534	△101,534	—
計	2,176,973	1,223,664	245,687	3,646,325	△101,534	3,544,790
セグメント利益又は損失(△)	481,259	△112,991	△41,345	326,921	△297,310	29,610

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△297,310千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	ソリュー ション	プラット フォーム	インキュ ベーション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,130,028	1,980,839	37,482	4,148,350	—	4,148,350
セグメント間の内部売上高又は 振替高	69,096	11,917	—	81,013	△81,013	—
計	2,199,124	1,992,757	37,482	4,229,363	△81,013	4,148,350
セグメント利益又は損失(△)	487,806	△127,982	△36,038	323,785	△272,552	51,233

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△272,552千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、海外事業等の新規事業開発としての一定の検証・立ち上げフェーズが進捗したことを踏まえ、一部の部門の帰属セグメントに変更が生じたため、新たなセグメント情報の数値を記載しております。そのため、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

詳細は、「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」に記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	196,707千円	212,921千円
のれんの償却額	2,983千円	994千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。